

2025(令和7)年度 北海道園芸研究談話会 研究発表会プログラム

2025(令和7)年12月7日 於 北海道大学 農学部校舎

開始時間	会場(1階, W109多目的室)
	午前 1 座長 江原 清(道総研道南農試)
9:30	1. 北海道におけるサツマイモの育苗技術に関する提案 荒井真悟(ホクレン農総研)
9:45	2. 北海道におけるサツマイモの塊根肥大に関する生育追跡調査 ○小林由佳1・三上翔平2(1.ホクレン農総研、2.青森市経済部)
10:00	3. 道内7地域におけるサツマイモ5品種の栽培が収量・乾物率に及ぼす影響 ○大道雅之1・上西孝明2・二木浩志2・廣瀬要次郎3・古明地咲4・宇都宮咲耶5・古坐優花6(1.大道技術士事務所、2.拓大道短大、3.三好アグリテック(株)、4.北海道エア・ウォーター・アグリ(株)、5.網走農改清里、6.十勝農改十勝北部)
10:15	4. ギョウジャニンニクの生育特性 ○田丸典彦1・諫山邦子2・渡辺剛志3(1.釧路野外教育研究会、2.くしろせんもん学校、3.釧路短大)
	午前 2 座長 志村華子(北大院農)
10:35	5. タマネギ乾腐病圃場におけるドローン空撮画像から算出した植被率と貯蔵開始時の発病率の関連解析 ○中嶋香織1・川上 顕2・村田奈芳2・寺沢祐一3・井上晃一3・小野田(深津)和也3(1.農研機構農情研、2.農研機構北農研、3.カネコ種苗(株))
10:50	6. 水田輪作における田植後稻刈り前の期間にレタスおよびキャベツ栽培を省力的に導入する試み ○栗原志保・君和田健二(農研機構北農研)
11:05	7. 猿払村『施設園芸栽培調査研究事業』における葉根菜類の冬季無加温栽培 ○岡元英樹1・塚田治幸2・坂入亮兵2・山口智代2・新家拓朗2・中田哲吉2・小高翔太2・阿部真人2・森 明洋3・高田 热4・山岸修一5・佐々木大介6・古山真一7・高瀬雅幹8・地子 立9(1.道総研酪農試天北支場、2.猿払村、3.上川農試技術普及室、4.道南農試技術普及室、5.道立農大、6.道総研上川農試、7.県立広島大、8.道総研花野菜技セ、9.(株)サカタのタネ)
	午前 3 座長 中嶋香織(農研機構農情研)
11:25	8. 成長期に気温が高い環境で摘葉処理が高耐寒性種間交雑ブドウ品種の果実品質に与える影響 ○山下咲音1・山岸賢三2・東億2・春日 純1(1.帯畜大、2.十勝ワイン)
11:40	9. 過湿条件下の醸造用ブドウ苗に対するメタトニン外与の影響 ○小野色葉・北岡直樹・柏木淳一・松浦英幸・鈴木 卓・実山 豊(北大院農)
11:55	10. 可溶性炭水化物と含水量を説明変数としたブドウ芽の耐凍性予測モデルの構築と検証 ○来田祐太朗・吉田芽衣・八木慎太朗・藤木卓巳・鈴木 卓・実山 豊(北大院農)

12:10~13:10 昼休み(60分)

	午後 1 座長 高瀬雅幹(道総研花野菜技セ)
13:10	11. 土壌凍結によるニンニクの凍害はどのように起こるのか? ○田嶋良平1・後藤聖奈2・島田仁吾2・春日 純1(1.帯畜大、2.JA十勝清水町)
13:25	12. 植付時期の違いがニンニクの生育に与える影響 嶋倉直也(道総研花野菜技セ)
13:40	13. 袋を用いたホワイトアスパラガスの促成栽培において株齢が収量に及ぼす影響 ○本庄絢音1・牛島卓佑1・園田高広2(1.ニセコ高、2.酪農大)
13:55	14. ナスセル成型苗の苗質の違いが生育および収量性に及ぼす影響 ○福川英司・野田智昭(道総研上川農試)
	午後 2 座長 嘉見大助(農研機構北農研)
14:15	15. トレハロース添加前培養による植物培養細胞の乾燥保存性向上に関する研究 ○秋山勇太朗・丸山航平・鈴木 卓・実山 豊(北大院農)
14:30	16. 夏秋ドリイチゴの摘葉処理が果実中のアミノ酸、ビタミン類、およびポリフェノール含量に及ぼす影響 ○藤木卓巳・来田祐太朗・実山 豊・鈴木 卓(北大院農)
14:45	17. バイオ炭施用がキャベツの収量・品質に及ぼす影響 ○高瀬雅幹1・大久保進一1・嶋倉直也1・長田 亨1・保田 浩2・長南友也2・佐藤文生3(1.道総研花野菜技セ、2.農研機構北農研、3.農研機構野菜花き部門)
15:00	18. 生分解性液状マルチが地温および雑草発生に及ぼす影響 ○川岸康司1・池島敏二2・池島孝宜3・山藤 香3・元木 悟4(1.明治大黒川農場、2.トーテク(株)、3.明治大院農、4.明治大農)

終了15:15

注) ○印は演者を示します。発表時間は1課題当たり15分(発表12分、質疑3分)です。

発表開始後、10分で1鉢、12分で2鉢、15分で3鉢を鳴らしますので、演者は参考にして下さい。

演者の許可なく講演内容のカメラ・ビデオ等による撮影は禁止します。

※演者の方は、一つ前の発表が始まる前までに、各講演会場前方のPC係に発表スライドの入ったUSBメモリを提出ください

※会報原稿作成時の課題番号は、上記プログラムに記載した通し番号をお使いください

※会場での会費納入は取りやめることにしました。談話会ホームページもしくは会報に掲載の所定の振込口座へお振込みください